選考委員特別賞

第24回
ふるさとイベント大賞

選考委員会委員長表彰

フェスティビタス ナタリス2019

「フェスティビタス　ナタリス」は、戦国時代の日本とヨーロッパの国際交流・歴史資産を地域資源として、当時のクリスマスを再現したイベントです。イベント名は当時伝えられたラテン語で、「クリスマスのお祭り」を意味しています。

織田信長が天下を統一しようとしていた1580年、長崎県島原半島には南蛮船が来航し、キリスト教と共に多くのヨーロッパ文化が渡来しました。当時の島原半島には日本初の神学校「有馬のセミナリヨ」が創立され、日本初のヨーロッパ派遣団「天正遣欧少年使節」の4人もセミナリヨの第一期生としてルネサンス期の最先端の学問を学びました。その後の江戸幕府のキリシタン弾圧、島原・天草一揆により当時の記録は日本国内に残されていませんが、イタリアやポルトガルの宣教師たちが伝えた報告書から戦国時代の南島原市を舞台としたヨーロッパ諸国との交流の様子が伺えます。こうした戦国時代のヨーロッパとの交流にスポットを当てて始まったのが、フェスティビタス　ナタリスです。

イベント時には、430年前の記録から再現した「南蛮行列」に参加できるとともに、日本人が初めて聞いた西洋音楽を聴き、南蛮料理やワインを楽しむなど、当時の人々が初めて出会ったヨーロッパの文化を体感できます。イベントのシンボルは高さ30㍍、日本最大級のクリスマスツリーで、ツリー沿いの長さ1.6㌔の街路樹171本に施したイルミネーションの道は南島原市の冬の風物詩となっています。

当時の国際交流を体験できる本イベントは、戦国時代に国際交流の舞台となった南島原市ならではの取り組みであり、イベントを通じて市民の国際交流への関心拡大・郷土愛の醸成にも大きく貢献しています。平成30年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」がユネスコの世界文化遺産となり、今後さらに国内外から参加者の増加が予想され、交流人口の拡大や知名度向上が期待されます。

主催者メッセージ

戦国時代に南蛮貿易で栄えた長崎県南島原市。ほとんどの日本人が地球が丸いことを知らなかった時代のヨーロッパとの国際交流をテーマにしています。宣教師がローマに伝えた報告書から再現した430年前のキリシタン行列は必見です。立木としては日本一クラスの巨大ツリーと171本、長さ1.6㌔の街路樹のイルミネーションの道も見所です。

南島原市冬のお祭り実行委員会
事務局長
末永 透さん

開催DATA

自治体名	長崎県南島原市
自治体人口	45,259人 ※R1.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	南島原市冬のお祭り実行委員会
開催回数	23回
開催日	令和元年12月7日（土）
開催場所	長崎県南島原市北有馬町丁52番地 南島原市立有馬小学校グラウンド
観客数	5,000人

評価のポイント

●ヨーロッパに伝えられた430年前の報告書をもとに再現した。当時の日本人が初めて出会ったヨーロッパの文化を体験できるなど、国際交流の舞台となった場所ならではのイベントであり、独創性がある。
●ステージでの朗読劇では南島原市平成遣欧少年使節団がローマ教皇謁見報告などを行い、市民の国際交流への関心拡大・郷土の誇り向上にも貢献している。
●イベントを通してイタリアの都市と友好都市締結に発展するなど、新たなつながりを生んでいる。

次回開催日程

■開催日：令和2年12月5日（土）
■開催場所：長崎県南島原市北有馬町丁52番地 南島原市立有馬小学校グラウンド
■問い合わせ先：
・団 体 名　南島原市冬のお祭り実行委員会
・住　　所　〒859-2305 長崎県南島原市北有馬町戊2747番地
・電話番号　090-9587-1762　・URL　http://festivitas.web.fc2.com/